

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111 (代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. ご挨拶
02. 平成26年4月より料金が一部変更となりました
03. パーキンソン病市民フォーラムを開催します、血液・尿検査「検査説明書」のご紹介
04. 公開セミナーを開催します、平成24年度初期臨床研修医 臨床研修が終了しました、
編集後記

ご挨拶



副院長 吉田和彦

「葛飾医療センター」として生まれ変わって早2年3ヶ月、皆様のご支援もあり、外来患者数の増加、90%前後の病床稼働率、平均在院日数9日台と、その運営は堅調に推移しております。現在、建築計画が進められている別館棟は平成27年4月に竣工予定で、放射線治療施設、15床に拡張した化学療法センターなどが設置されます。手術と化学療法に加えて、放射線治療が再開されることにより、がんに対する集学的治療を完結することが可能となります。近隣には放射線治療施設はなく、地域のニーズに少しでも応えることができればと考えております。

葛飾医療センターは3年目を迎え、悪性腫瘍に対する治療を成長戦略の一つに掲げ、更なる飛躍を目指します。一方で、リニューアルの際に掲げました「地域と共生し、進化・創造し続ける病院」という初心を忘れずに、引き続き安全で質の高い医療の提供を目指す所存です。

今後とも葛飾医療センターへの更なるご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

平成24年1月に葛飾医療センターとしてスタートしました。私達は旧病院からのリニューアル・プロジェクトの計画の中で、今後の医療環境の変化に備え、別館建設も想定していました。今回、平成27年4月の竣工を予定している第2期工事計画の進捗状況をご報告いたします。

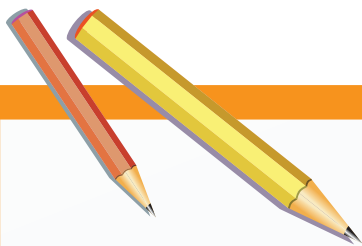
人口の高齢化とともに、地域でのがん治療の要望は年々多くなる中で、放射線治療・化学療法は欠かせないものとなりました。また、教育病院として、医学生・看護学生をより多く迎え入れることが今後想定され、現施設では対応困難となりつつあります。

別館は、現在の病院北側に隣接し、地上3階建、建築面積327㎡、延べ床面積913㎡の計画で、2階で渡り廊下と連結します。1階が放射線治療室、2階が外来化学療法室、3階が医学生・看護学生控室・会議室とし、現在、ワーキング・グループでの詳細設計が進められ、今年7月に着工の予定です。

地域の診療・教育施設として、さらに皆様の期待にそえるよう貢献いたします。



副院長 兎島 章



平成26年4月より料金が一部変更となりました

平成26年4月より、診療報酬改定ならびに消費税率の引き上げに合わせて、料金の変更を行ないました。その一部をご紹介します。(※1点:10円)

- ① 初診料:患者さんが保険医療機関で初めて診療行為を受ける際にかかる診察料のことです。

【変更前】270点 ▶▶▶ 【変更後】282点

- ② 再診料:初診料が初めての受診であることに対し、2回目以降に受診したときの診察料のことです。

【変更前】69点 ▶▶▶ 【変更後】72点

- ③ 外来診療料:一般病床が200床以上の病院では、再診料ではなくこの外来診療料を算定します。

【変更前】70点 ▶▶▶ 【変更後】73点

- ④ 初診時選定療養費:病院と診療所の機能分担の推進を図るために国が定めた制度で医療機関からの紹介状をお持ちでない初診の患者さんにご負担頂いております。

【変更前】前回の受診から6ヶ月間空いている場合に2,160円(税込)

▼
【変更後】前回の受診から3ヶ月間空いている場合に3,240円(税込)

- ⑤ 室料差額(1日あたりの税込料金)

消費税率の引き上げに伴い、税込金額が変更となりました。葛飾医療センターは差額なしの4人室もございますが、室数に限りがあるため、状況によりご希望に沿うご案内ができない場合がございますので、ご了承ください。

▶ 4人室(有差額):5,616円

▶ 特別4人室:7,560円

▶ 個室:19,440円

▶ 個室(9階):24,840円

▶ 個室(特別室B):54,000円

▶ 個室(特別室A):75,600円

パーキンソン病市民フォーラムを開催します

1.日時 平成26年6月7日(土) 13:00~15:00

2.会場 テクノプラザかつしか

〒125-0062 東京都葛飾区青戸7-2-1
TEL:03-3838-5555



3.挨拶 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 神経内科診療部長 鈴木 正彦

- 4.講演
- ①演題「パーキンソン病って-症状と対策-」
演者:東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 神経内科診療医員 余郷 麻希子
 - ②演題「パーキンソン病との付き合いかた-知っておきたいこと-」
演者:東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 神経内科診療医員 大本 周作
 - ③演題「生活の仕方と社会資源の使い方」
演者:東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 在宅支援看護師 鎌木 由香

5.参加費 無料

6.定員 300名



血液・尿検査「検査説明書」のご紹介

医師が患者さんの健康状態や治療経過などをみる上で、血液・尿検査は必要不可欠で一般的な医療行為の一つとなっています。

しかし、患者さんにとっては、その検査結果が何を意味しているのか理解しにくいものが多いと思います。

そこで、血液・尿検査を行っている中央検査部では、当医療センターで実施している検査項目について「検査説明書」を作成し、2階の採血室で配布しております。また、患者さんから寄せられることが多い質問に関して、Q&A方式で解答を取りまとめたものもご用意しています。お近くにいらした際にはぜひご覧になってください。(中央検査部)

検査項目	検査結果	検査結果の解釈
総蛋白	6.0-8.0 g/dL	総蛋白は、血液中のタンパク質の総量を測定する検査です。値が低い場合は、栄養不足や肝臓・腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
アルブミン	3.5-5.0 g/dL	アルブミンは、血液中の主要なタンパク質です。値が低い場合は、肝臓の機能低下や腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
総ビリルビン	0.1-1.2 mg/dL	総ビリルビンは、血液中のビリルビンの総量を測定する検査です。値が高い場合は、肝臓の機能低下や胆道の閉塞を示唆する可能性があります。
AST (GPT)	0-40 U/L	ASTは、肝臓の機能を示す酵素の一つです。値が高い場合は、肝臓の炎症や損傷を示唆する可能性があります。
ALT (GPT)	0-40 U/L	ALTは、肝臓の機能を示す酵素の一つです。値が高い場合は、肝臓の炎症や損傷を示唆する可能性があります。
ALP	0-120 U/L	ALPは、骨の代謝を示す酵素の一つです。値が高い場合は、骨の代謝亢進や肝臓の機能低下を示唆する可能性があります。
γ-GTP	0-40 U/L	γ-GTPは、肝臓の機能を示す酵素の一つです。値が高い場合は、肝臓の炎症や胆道の閉塞を示唆する可能性があります。
尿酸	2.0-7.0 mg/dL	尿酸は、体内で生成される物質です。値が高い場合は、痛風や腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
血糖	80-120 mg/dL	血糖は、血液中の糖質の量を測定する検査です。値が高い場合は、糖尿病を示唆する可能性があります。
尿素窒素	7-20 mg/dL	尿素窒素は、腎臓の機能を示す物質の一つです。値が高い場合は、腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
クレアチニン	0.6-1.2 mg/dL	クレアチンは、腎臓の機能を示す物質の一つです。値が高い場合は、腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
尿酸	2.0-7.0 mg/dL	尿酸は、体内で生成される物質です。値が高い場合は、痛風や腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
尿酸	2.0-7.0 mg/dL	尿酸は、体内で生成される物質です。値が高い場合は、痛風や腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
尿酸	2.0-7.0 mg/dL	尿酸は、体内で生成される物質です。値が高い場合は、痛風や腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
尿酸	2.0-7.0 mg/dL	尿酸は、体内で生成される物質です。値が高い場合は、痛風や腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。
尿酸	2.0-7.0 mg/dL	尿酸は、体内で生成される物質です。値が高い場合は、痛風や腎臓の機能低下を示唆する可能性があります。

公開セミナーを開催します

- ①日時：平成26年6月14日(土) 14:00～15:30 (12:00より整理券配布開始)
- ②会場：慈恵医大葛飾医療センター 5階 講堂
- ③テーマ：「排尿にまつわる病気と気になる尿もれについて」
- ④司会：泌尿器科 診療部長 清田 浩
- ⑤挨拶：葛飾区医師会会長 石川 辰雄
- ⑥演者・演題：1)泌尿器科 診療医員 小出 晴久
「前立腺がんってどんな病気？」
2)看護部 主任 山本 恭子
「尿もれ防いでさわやか生活」
- ⑦後援：(社)葛飾区医師会
後援・協賛：葛飾区、慈恵医大同窓会
- ⑧参加費：無料
- ⑨定員：先着150名 ※定員を満した時点で受付終了となります

お気軽に
ご参加
ください。



平成24年度初期臨床研修医 臨床研修が終了しました



未来の慈恵大学を担う医師として、
さらなるご活躍を祈念致します。
2年間お疲れ様でした。



編集後記

新年度となりまして、気持ちを新たに生活をスタートされた方も多いのではないのでしょうか。
葛飾医療センターでは、新たに別館建設に向けたプロジェクトが進行しており、地域と共生し進化・創造し続ける病院として、地域の皆様に貢献してまいります。